

2008年(平成20年)春季講演会応物シンポジウムのご案内

「MEMSとCMOSの融合による新たな展開: True-MEMS」

主催 応用物理学会

2008年(平成20年)春季講演会が2008年3月27日(木)～30日(日)の期間日本大学理工学部 船橋校舎(千葉県船橋市)において開催されます。27日(木)(13:00～17:15)(会場未定)に下記主旨のもとシンポジウムを開催いたします。是非皆様のご参加をお願い申し上げます。

主旨

近年 MEMS の市場は、予想以上の確実な伸びを示しています。その状況で、技術の方向性として集積化がキーワードとなっています。集積化の目的として、MEMS の集積化、CMOSLSIとの集積化などさまざまな提案がされています。特に、世界的潮流として、MEMS 技術と LSI 技術との融合は、重要な課題である More than Moore の一つの解として期待され研究開発が活発化しています。

一方で、MEMS 技術については、材料、プロセス、デバイス構造、実装技術、高歩留り技術、高信頼化技術等多くの課題が顕在化してきています。MEMS 技術の創世期は、MEMS 技術が LSI 技術で培った半導体加工技術の導入により機械工学的な駆動部分や微細構造体を実現するということで展開されていますが、集積化とビジネス化に至り LSI 技術のあらゆる分野の導入が不可欠になっていると考えられます。まさに、機械工学と電気電子工学の新たな融合が必要になってきていると考えています。

このような背景において、LSI 技術者が一同に会す応用物理学会の場で MEMS 技術の今後の課題と展望について議論し MEMS と LSI 両技術分野の融合と新たなテーマに向けた活発な議論を期待したいと思います。

上記主旨のもと、シンポジウムのプログラムとして MEMS 技術の今後の方向性、現状の具体例と課題、CMOSLSI 技術から見た MEMS 技術への期待と課題、実装技術の課題、材料の実態、さらに、LSI 技術との融合を含めた MEMS ビジネスという観点で、現在、ご活躍されている先生方をお願いし、シンポジウムを構成いたしました。また、講演後総合討論を行うこととし、活発な議論を期待したいと考えております。

プログラム

- | | | |
|--------------------------------------|-------------|--------------|
| 1) イントロダクトリートーク: True-MEMS の実現はあるのか? | 13:00-13:30 | 益 一哉 (東工大) |
| 2) MEMS 技術の現状と集積化技術への期待 | 13:30-14:00 | 江刺正喜 (東北大) |
| 3) LSI メーカーから見た MEMS 技術への期待と課題 | 14:00-14:30 | 柴田英毅 (東芝) |
| 4) 集積化 CMOS-MEMS 技術: CMOS 回路の立場から | 14:30-15:00 | 森村浩季 (NTT) |
| 15:00-15:15 休憩 | | |
| 5) MEMS と実装技術 | 15:15-15:45 | 千野 満 (ミスズ工業) |
| 6) MEMS 技術と材料技術 | 15:45-16:15 | 稗田克彦 (JSR) |
| 7) MEMS の今後のビジネス展開に向けて | 16:15-16:45 | 永田隆一 (ABS) |
| 8) 総合討論(30分) | 16:45-17:15 | 益 一哉 (東工大) |

世話人 町田克之 (NTT-AT)、河村誠一郎 (Selete)、益 一哉 (東工大)

本件問合せ先: (社) 応用物理学会 苅米 TEL 03-3238-1044 karigome@jsap.or.jp